



学校見学会のお知らせ

北海道琴似工業高等学校(公立)

(札幌市西区発寒 13 条 11 丁目 3-3-1)

* 全日制 / 電子機械科・電気科・情報技術科・環境科学科

* 定時制 / 電子機械科・電気科

学校説明会

□ 期 日 / 令和8年9月5日(土)

午前の部、午後の部の2回に分けて同じ内容で行います。

① 午前の部 8:50~12:00 (受付開始 8:30)

② 午後の部 12:30~15:40 (受付開始 12:10)

□ 時 間 /

□ 対 象 / 中学3年生で本校全日制課程の学習等に興味関心のある生徒とその保護者

□ 場 所 / 本校教室 (生徒玄関に会場を表示します)

□ 内 容 / (1) オリエンテーション…学習・学校生活/生徒会・部活動/卒業生の進路
各科の特色について

(2) 各学科実習体験・見学

(内容は、変更になる場合があります。)

科	実 習 項 目	実 習 内 容
電 子 機 械	普通旋盤実習	・普通旋盤による鉄の丸棒を 0.02mm以内の精度の切削加工を実演します。
	MC実習 溶接実習	・最新のMCの切削動作をドライランで実演します。 ・ガス溶接・溶断、アーク溶接、プラズマ切断、半自動溶接などの作業を実演します。
	3D-CAD実習 実習装置等の展示	・在校生と一緒に、実習体験をしてもらいます。 ・ベンチエンジンと各種点滅装置の始動。3Dプリンターの実演と作品展示。マイコンカーの走行見学等。
電 気 科	気工事実習 シーケンス制御実習 課題研究作品展示	・実習でつくったシーケンス回路で『琴工早押しクイズ!!!』 ・卒業生による『電気科でよかったあ!!』体験談 ・課題研究で製作した作品の展示
情 報 術 技 科	LED点灯制御実習	・「LEDがかっこよく光るように、回路やプログラミングでコントロールしよう！」 ・電子部品で回路をつかって、LEDが自動で点滅するようにしよう！回路はハンダ付けをしなくても簡単にできます。 ・マイクロコンピュータにプログラミングをして、LEDの点滅をコントロールしよう！ 在校生が楽しく・親切・丁寧に教えてくれます。
環 境 化 学 科	アーク溶接 中性洗剤の製造 菌類の観察 ガラス細工	・化学プラントの保守管理に必要な溶接の実演をします。 ・日常的に使用されている合成洗剤(粉せっけん)の合成方法を実演紹介し、体験してもらいます。 ・身近に存在する菌類について説明し、実際に菌類を培養したものを観察してもらいます。 ・基本的な実験器具の加工に用いられるガラス細工の技術を体験してもらいます。

①午前の部 8:30	8:50	9:00	9:15	11:30	11:40	12:00
	受付	日程説明	オリエンテーション	各科実習見学	アンケート (中学生)	
					学校概要説明(引率教員・保護者)	
②午後の部 12:10	12:30	12:40	12:55	15:10	15:20	15:40

□申込方法

(1) 受付期間

令和8年7月6日(月)16:20 ~ 令和7年8月25日(火)23:59 まで

(2) 方法

【申込用二次元コード】

*本校のホームページ、又は下記の URL、
二次元コードにより参加申込



【申込用 URL】

<https://x.gd/vUwcC>

原敬の進路選択

自分の進路を考えていると、「希望した学校に進めなかったらどうしよう」とか、「一度つまずいたら…その後どうしよう」などと不安になることもあるのではないのでしょうか。しかし、人生、必ずしも思い描いた通りに進むとは限りません。今回は、平民出身として初めて内閣総理大臣となった原敬の進路選択です。

原敬は、現在の岩手県に生まれました。若い頃は法律を学び、将来は官僚(役人)として国のために働きたいと考えていました。そのため、上京して学問に励みますが、当時の政治的な混乱の中で学校を退学することになり、思い描いていた彼の進路は大きく変わってしまいます。



しかし、原はそこで諦めませんでした。官僚への道が閉ざされると、新聞記者として働き始めます。記者の仕事を通して、社会の動きや人々の暮らしを学び、多くの人と出会いました。この経験が、後に政治家として国民の声に耳を傾ける姿勢につながったといわれています。

その後、外交官や政治家として活躍した彼は、1918年に総理大臣に就任します。当時は華族や藩閥出身者が政治の中心でしたが、原は特別な家柄に頼ることなく、自らの努力と経験によって日本のリーダーとなっていきます。「平民宰相」と呼ばれ、多くの国民から期待を寄せられたのです。

原敬の人生から学べることは、「遠回りに見える経験も無駄ではない」ということだと思います。もし希望通りにいかないことがあっても、その経験が後の成長や新しい可能性につながることがあります。大切なのは、目の前のことに誠実に取り組み、学び続けることです。

思い通りにならないことや迷うことがあっても、一つひとつの経験は必ず未来につながっています。自分の可能性を信じ、目の前の道を着実に歩いてほしいと思います。進路とは、ゴールではなく、自分らしい人生を築くためのスタートなのだと思います。